

2026年度 地域の元気応援プロジェクト 提案活動テーマ一覧

5月8日（金）17:00～ @ミライクリエ1F 多目的スペース

番号	テーマ	提案団体	自治体
1	優しい心でつながる絵本プロジェクト 『心のバリアフリー』誰もが笑顔で暮らせる共生社会に！	きよさんガーデンプロジェクト	東広島市（西条）
2	地域資源に恵まれた倉橋島における郷土芸能で新たな地域魅力づくり ～地域芸能を掘り起こし未来に向けて持続的な伝承をめざして～	倉橋交流拠点構想推進協議会	呉市倉橋町
3	魅力ある学校づくりを地域をあげて応援！東城・書の表現アートプロジェクト ～アートの町・東城を中学生・高校生と一緒に盛り上げる！～	東城自治振興区	庄原市東城町
4	「学び舎と共ににぎわうまち」実現プロジェクト：新庄学園生×広大生が挑む、JFA公認グラウンドと新庄小跡地を繋ぐ「スポーツ&コミュニティハブ」の創出	大朝地域協議会	北広島町（大朝）
5	地域と学生が連携した千田地区の魅力の発掘・発信	千田地区まちづくり検討会 MAP制作チーム	広島市（東千田）
6	AIと科学技術で実現する「野菜との対話」：野菜の健全度の可視化により栽培環境を最適にした、環境にやさしい農法DXプロジェクト」の概念実証（PoC）	えのきのはたけ郷原市民農園LLP	呉市
7	大長（おおちょう）ゴールデン・リボン プロジェクト ～「潮待ちの港で、旬を待つ。私たちが耕す、黄金の未来」～	JA広島市営農経済部かんきつ販売課	呉市豊町
8	「西条酒蔵地区を含む地域全体で多様な課題を共有し、これからのまちのあり方を描き出すこと」に向けての調査、ワークショップ等、地域の多様な団体との関係づくりへの協力	まちつなぎ	東広島市（西条）
9	不登校・ひきこもりの状態にある子どもの社会的自立を支える包摂的な地域社会実現のための伴走者の可視化	東広島市不登校支援ネットワーク Connect+	東広島市（西条）

活動テーマ

優しい心でつながる絵本プロジェクト

きよさん ガーデン プロジェクト

『障がい者と健常者をつなぐ架け橋に！』

みんなが優しく思いやれるまち・・・
 お互いの事を気づける人に・・・「できない」を「できる」に！！

体験談
 “車いす きよさん。
 出会いは宝物！”



絵本で伝える！

【プロジェクト内容】

☆「きよさん」シリーズ
 1巻から6巻制作予定です。
 現在、2巻まで完成！
 ⇒3巻から6巻まで絵本を作成。

☆障がい者週間（12/6）
 イベント開催
 ⇒絵本の読み聞かせ&クイズ
 企画。

☆絵本の完成イベント開催（予定）
 ⇒企画・運営。

【活動の流れ】



世界に一つだけ！！
 心に届ける絵本を一緒に
 作りませんか…



地域の元気応援プロジェクト展開案

倉橋地域の課題・問題

少子高齢化 人口減・経済の停滞 地域コミュニティ停滞 地域マンパワーの減退
良き伝統の衰退 郷土芸能などの伝承ができない



室尾三味線

広島大学の専門的・学術的な蓄積を活用



神楽太鼓

倉橋地域の豊富な資源

美しい自然・歴史資源と郷土芸能
神楽太鼓 万葉歌 室尾三味線 祝唄
石切り唄 倉橋本浦節 室尾大漁節
灘の獅子舞 尾立奴行列 盆踊りなど

倉橋地域の郷土芸能の調査・掘り起こし



郷土芸能の譜面化や映像等の記録収集



郷土芸能で新たな地域の魅力づくり

- ・掘り起こしされた郷土芸能の有効活用
- ・郷土芸能伝承活動
- ・伝承文化の継承と地域活動の活発化
- ・地元住民の地域活性化への参加意識の向上
- ・島内外へ倉橋島の地域資源の魅力を発信
- ・次年度以降の継続的实施へのモデル



尾立奴行列



灘の獅子舞



各地区にある盆踊り

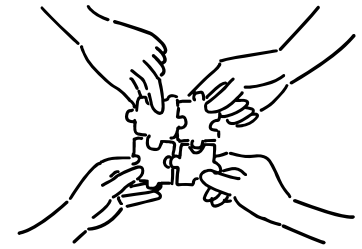




魅力ある学校づくりを地域をあげて応援！

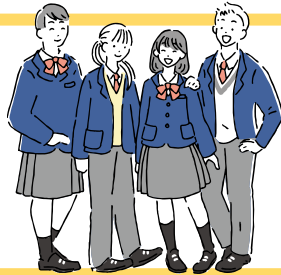
東城・書の表現アートプロジェクト

～アートの町・東城を中学生・高校生と一緒に盛り上げる！～



地域の課題

町内に唯一の高校（東城高校）
生徒数減の影響で存続危機！



高校の取組

魅力ある学校づくりに着手
「実用書道」→「書道表現」

住民自治組織（地域）の提案

プロの書家から学び交流する機会を作ろう！

現代書家・大杉弘子氏を招へい

- 外部講師として特別授業と交流会の実施
- 書のパフォーマンスとワークショップの開催
- ワークショップ作品の作品展開催

- ★プロの作品にふれる機会
- ★プロから学べる特別感
- ★地域の作家にも開かれた場に展開！



大杉 弘子

おおすぎひろこ
静岡県袋井市。磐田南高校、東京学芸大学書道科卒。手島右卿に師事。文化庁特別派遣在外研修員。

静岡県文化奨励賞・川村賞受賞。ベルリン・マイセン・デュッセルドルフ・チューリッヒ・ロンドン・ソウル・代官山等で個展ワークショップ等多数。J A A日本美術家連盟会員・I A A国際美術家連盟会員・I.A.A.UNESCO

大杉弘子書界



テーマ
2025 万博と原爆
公開 2025.10.7(火)～10.17(金)
10:00～15:00(土・日・祭日は休)

大杉さんとの交流は
2025年10月に東城町
での個展開催を機に
スタートしています。

広島大学



地域だけでは検証できないこと

- ・ 学びの場としての考察
- ・ 地域への波及効果
- ・ 地域連携の効果測定

地域の作家を巻き込みたい！

東城は芸術活動の盛んな地域
アートで地域を盛り上げよう！



新庄学園生×広大生が挑む、廃校跡地とJFA公認グラウンドを繋ぐ「スポーツ&コミュニティハブ」の創出

1. 地域の現状と課題



- 強力な地域資源の存在
日本サッカー協会 (JFA) 公認の人工芝グラウンド、全国から生徒が集う「新庄学園」。
- 廃校による拠点の空白
令和6年度末の新庄小学校閉校に伴い、地域の中心地に広大な遊休施設が発生。
- 「点」の活用からの脱却
素晴らしいスポーツ施設がある一方で、利用者が滞在・交流・体験できる「クラブハウス」的な機能が不足し、賑わいが地域全体に波及していない。

2. プロジェクトの概要 (核心)

新庄学園の「地域探究」を、
広大生の専門性で高度な社会実装へ

- リサーチ & デザイン
広大生の伴走のもと、高校生がグラウンド利用者のニーズを調査。跡地を「スポーツ&交流拠点」としてどう再生するか、若者視点でデザイン。
- 実証実験「ポップハウス・クラブハウス」
跡地を活用し、アスリートカフェや学習スペース、スポーツデータ解析体験などを限定で実際に運営。
- 多世代交流のハブ化
高校生が企画する軽スポーツイベントを通じ、地元住民と生徒、グラウンド利用者が混ざり合う場を創出。

3. 成果の活用方法と期待される効果

- 整備方針の根拠 (エビデンス)
実証事件の結果をデータ化し、「新庄小跡地整備方針」を策定する際の客観的な裏付けとして活用。
- 既存施設の価値向上
調査結果を可視化し、地域の既存施設のサービス向上や周辺活性化の連携材料に活用。
- 持続可能な教育モデル
広大生との協働プロセスを新庄学園の恒久的な探究カリキュラムとして定着させ、次世代のリーダーを継続的に育成。。

ただの廃校活用ではない。スポーツインフラと教育を掛け合わせ、地域に新しい経済と交流の循環を生み出す、大朝のグランドデザインを具現化する挑戦です。

地域と学生が連携した千田地区の魅力の発掘・発信

◆千田地区の立地環境

- 大学
 - ・R5年4月に法学部が回帰
- 多様な拠点施設の存在による他エリアからの訪問
 - ・企業、商店街、医療機関
 - ・文化、スポーツ、健康福祉、企業支援など県、市の関係機関の設置
- 人口、施設の増加
 - ・居住施設の増加
 - ・旧理学部1号館の活用 他



◆千田地域との連携

- 防災関連
 - ・地域住民団体、企業連携
 - ・防災フェア
 - ・防災ワークショップ 他
- 平和学習
 - ・地域と共催
- 千田祭〔学生主体〕
 - ・千田小学校、商店街、社会福祉協議会等と連携



◆まちづくりへの新たな取組の展開

- 検討会の設置
 - ・企業：5社
 - ・地域団体：2団体
 - ・広島市
 - ・学生団体1団体
- ワークショップの開催（3回）
 - ・情報発信・共有 ⇒ マップ制作
 - ・イベント連携
 - ・基盤・組織づくり



◆活動目的

千田地区の賑わいづくり 魅力の発掘 ⇒ マップ制作 ⇒ 情報発信 ⇒ 回遊性の向上

◆活動方法等

MAP制作チームの組成～企画・運営

- ・まち歩き、MAP制作ジャンルの選定、制作方法・手段の検討等
- ・商店街等が実施するイベント等の調査・分析による新たな展開の検討等

テーマ：AIと科学技術で実現する「野菜との対話」の概念実証（PoC）

団体名：えのきのはたけ郷原LLP

1. 課題：再現性の壁

●:高 ○:低

農法	環境負荷	再現性
慣行農法	●	●
環境にやさしい農法	○	○
提案モデル (AI×DX)	○	●

- 環境にやさしい農法（不耕起・無農薬等）は、自然に寄り添う高度な技術が必要
- 現時点、「勘」と「経験」が支配的
- 再現性に乏しく技術の継承や普及が困難

2. 解決案：健全度のズレを可視化



- 野菜と対話できるようになりたい
- 野菜の生体・環境データをAI解析
- 健全度の「ズレ」を可視化
- 適切な環境補正(対処法)を提示する技術モデル概念実証(PoC)を広島大学と共創したく。

3. プロセス：生体/環境とアルゴリズムの共創サイクル



Step1. フィールド設置と栽培：
耕起/不耕起の比較（R8.4開始済@郷原）

Step2. 学生・教員共同ワークショップ：
現場課題の抽出と技術モデル構想

Step3. 学生主体フィールドワーク：
生体・環境データ収集

Step4. AI解析と対処法の構想：
再現可能な技術モデル化 (PoC)

広島大学

4. 創出される価値と未来

地域社会的価値

- 誰でも実践できるガイドラインの作成
- 慣行農従事者/周辺住民との相互理解と不信感払拭
- 循環経済モデルへの組み込み活性化

学術的価値


- 論文/学会発表を通じた農法の科学的信頼性の確立
- 大学の先端知見の実証

石油依存の奪い合う構造社会から、水・土・空気を大切にするリジェネラティブな社会へのアップデート。郷原町から、循環経済の輪を広げる。

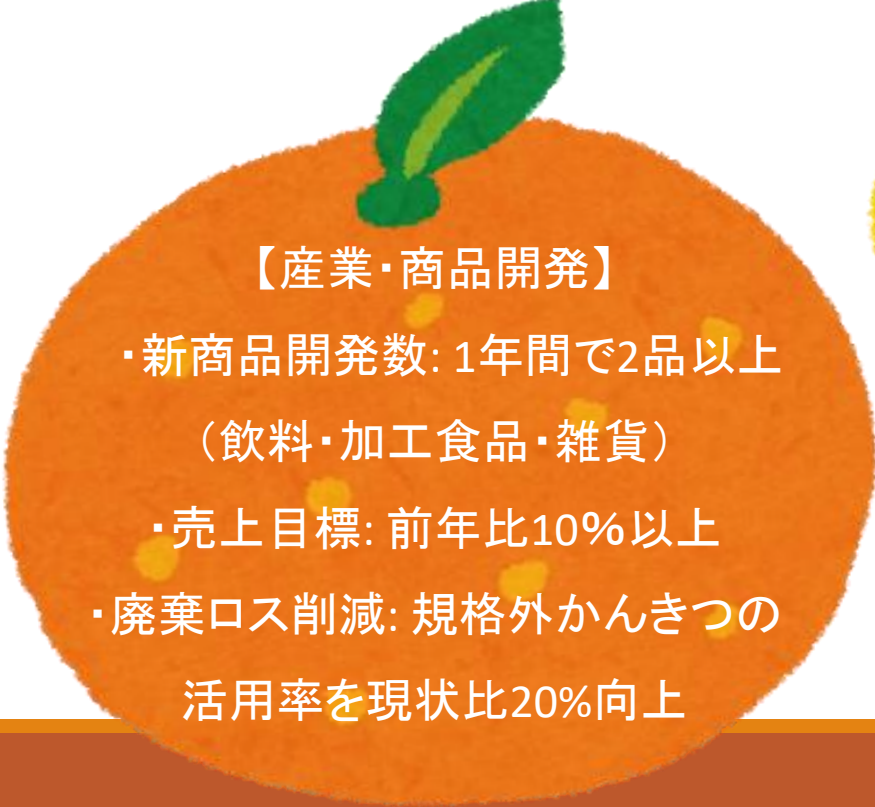
大長（おおちょう） ゴールデン・リボーンプロジェクト

～「潮待ちの港で、旬を待つ。私たちが耕す、黄金の未来」～

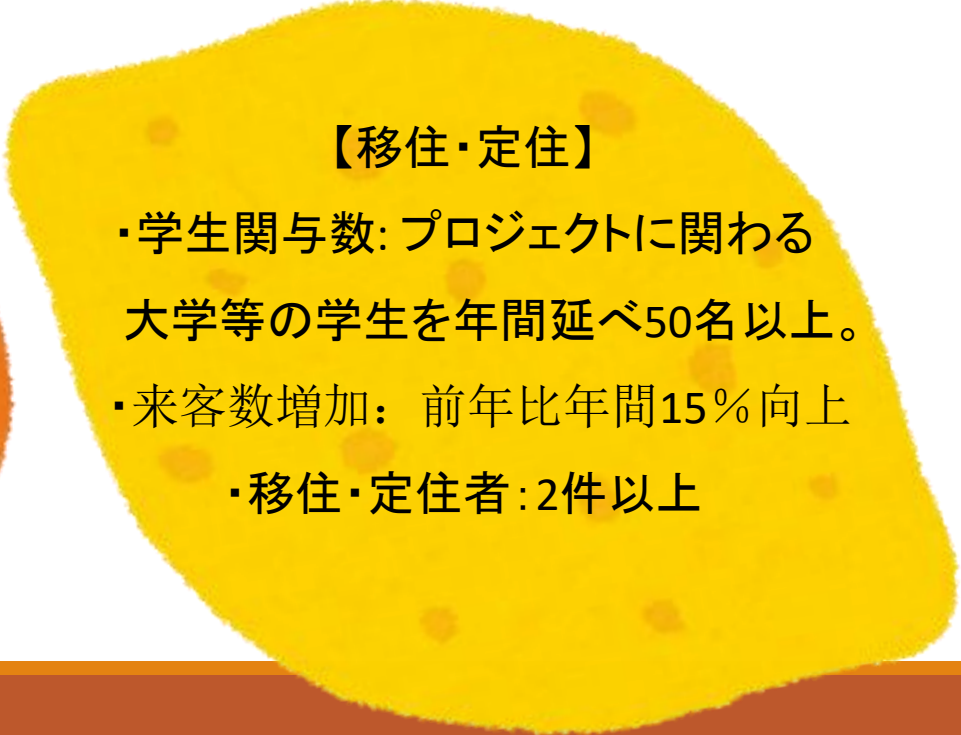
【観光・関係人口】

- 
- ・来客数増: 御手洗地区の学生・20-30代の来訪者数を年間15%増加
 - ・SNS拡散: 指定ハッシュタグ(例: #黄金の島再生)の投稿件数年間1,000件以上
 - ・滞在時間: 平均滞在時間を「通過(2時間)」から「半日(5時間以上)」へ

【産業・商品開発】

- 
- ・新商品開発数: 1年間で2品以上
(飲料・加工食品・雑貨)
 - ・売上目標: 前年比10%以上
 - ・廃棄ロス削減: 規格外かんきつの活用率を現状比20%向上

【移住・定住】

- 
- ・学生関与数: プロジェクトに関わる大学等の学生を年間延べ50名以上。
 - ・来客数増加: 前年比年間15%向上
 - ・移住・定住者: 2件以上

西条酒蔵地区を含むエリアの将来像を描く「まちつなぎ」プロジェクト概要

応募

背景



我々のアプローチ



主な活動



→ 調査×対話×可視化

期待される成果



→ 可視化×共有×提案

まずは地域住民の「今後どんなまちにしていきたいか」を整理していくところから！

空間の方向性・人と仕組み、実行と合意・判断基準を同時進行で検討

不登校・ひきこもりの状態にある子どもの社会的自立を支える 包摂的な地域社会実現のための伴走者の可視化

課題意識と目的

不登校・ひきこもりの子どもや家族は相談することも諦めてしまって支援が届かないことも多い。みんなでゆるやかにつながりながら子どもたちに伴走する大人や居場所を増やし、子どもたちの社会的自立を支えることのできる地域社会の実現を目指したい！

2025年度の活動



2025
東広島
いばしょ
居場所まっぷ
-あなたらしく生きる-



東広島不登校支援ネットワーク connect+

- 不登校になった際にどこに相談したら良いのかさえわからない、市内にどのような団体が他にあるかわかれば連携したい、という声を元に、支援団体の情報をこども・保護者・支援団体それぞれにとってわかりやすくまとめた居場所マップを作成！
- 団体の理念の浸透を目指したシンポジウムを開催！

2026年度の活動

- 2025年版居場所マップに掲載した情報の更新・増加（現在東広島市内や周辺地域で活動している団体の情報を収集・掲載）
- 不登校からの社会的自立をどう支えるかについての講演会や子どもたちが自分たちで企画した発表や物販も含め、地域で不登校について考え、伴走者の可視化や増加を目指すフェスティバルを実施（2026年12月13日を予定）

東広島不登校支援ネットワークConnect+

